

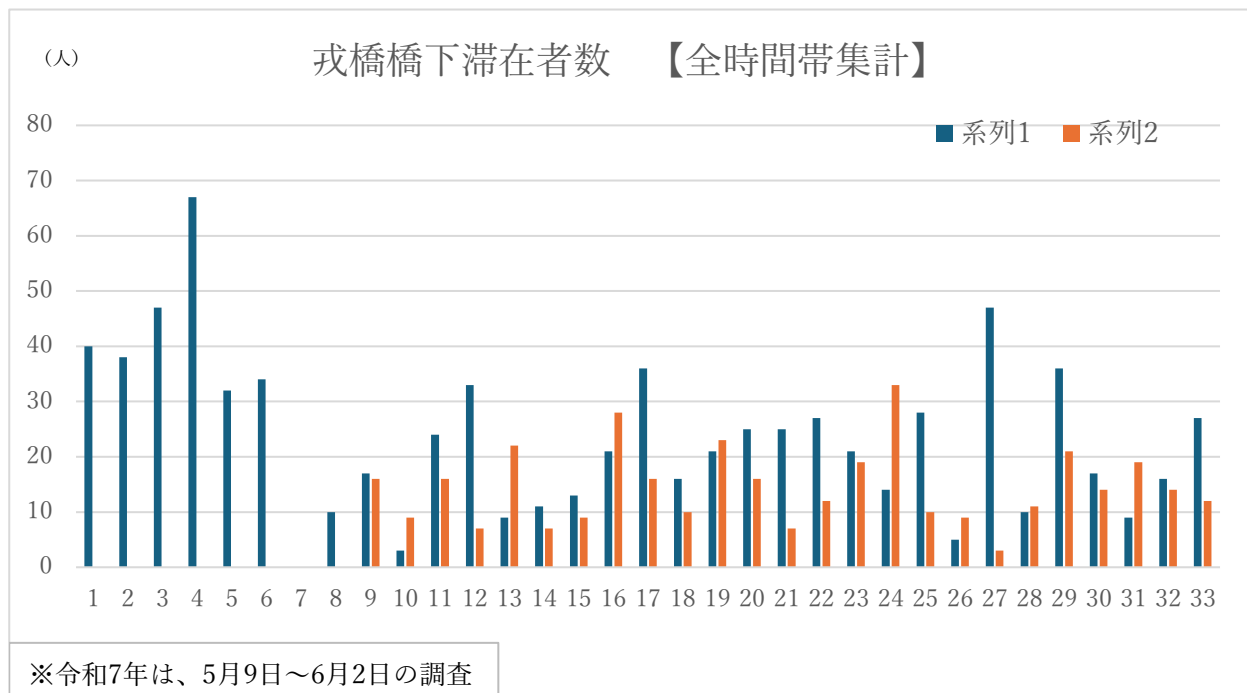
戎橋橋下への万能塀設置後の状況について

1. 戎橋橋下の若者の滞留状況について

戎橋橋下への万能塀設置後の若者の滞留状況について、とんぼりリバーウォークの運営管理事業者である南海電鉄が巡回警備する際に確認している状況を整理した。

今年については、5月9日から集計を行っている。なお、巡回警備の時間は、20時、23時、2時、4時30分の4回実施している。

図－1は、戎橋橋下の若者の滞留状況について、4回の巡回警備において、戎橋橋下の左右岸で確認された若者の人数の合計を、昨年と今年で比較したものである。



図－1 戎橋橋下の若者滞在者数 【全時間帯集計】

今年の集計期間である、5月9日から6月2日の期間で昨年と比較すると、昨年は511人確認されたが、今年は363人と減少している。一日の平均では、それぞれ昨年は約21人、今年は約15人となる。

2. 戎橋橋下におけるゴミの放置状況

南海電鉄による巡回警備の際に若者の滞留状況と併せてゴミの量についても記録を取っている。これによると、昨年の5月1日から31日の31日間のうち、最終の4時30分時点におけるゴミの量が、“多い”が3日、“やや多い”が9日、“少ない”が19日、“なし”が0日であったのに対し、今年の5月9日から31日の23日間の同じく4時30分時点におけるゴミの量は、すべての日が“少ない”となっており、ゴミ放置の防止効果は高かったことが伺える。

3. グリ下会議行政メンバー等による現地合同巡視活動について

5月16日（金）16時より、中央区役所総務課、同福祉課、福祉局生活福祉部自立支援課、南警察署、難波サポートセンター、建設局道路河川部橋梁課、同河川課メンバーによる現地合同巡視を実施した。

戎橋橋下では若者の確認はできなかったが、大黒橋周辺で7名程度の若者がおり、警察署員、サポートセンター職員が声掛けをおこなった。



関係者による情報共有状況



大黒橋の状況